

広報クイズ



問題ごとに正しい答えを選び、はがきに書いて送ってください。(町内の人に限りです)
正解者から抽選で今月は5人にコンキリエ利用券を差し上げます。

①今年の避難訓練は10月何日に行われるか(ヒントは2㊦)

ア=17日 イ=24日 ウ=31日

②厚岸消防団では、令和3年4月1日採用の女性消防団員を何人募集してるか(ヒントは18㊦)

ア=5人 イ=10人 ウ=15人

③国勢調査の調査票の提出期限は10月何日までか(ヒントは24㊦)

ア=5日 イ=6日 ウ=7日

応募方法／はがきに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて送ってください。

あて先／〒088-1192

厚岸町真栄3丁目1番地

厚岸町役場『広報クイズ』係

締め切り／10月16日(金)(当日消印有効)

※先月は55人から応募があり、次の人が当選しました。／加藤純一／加藤好子／川原田三奈子／武田里子／土屋結愛 (敬称略)

寄せられたはがきの個人情報には応募目的以外には使用せず、厳重に保管します。

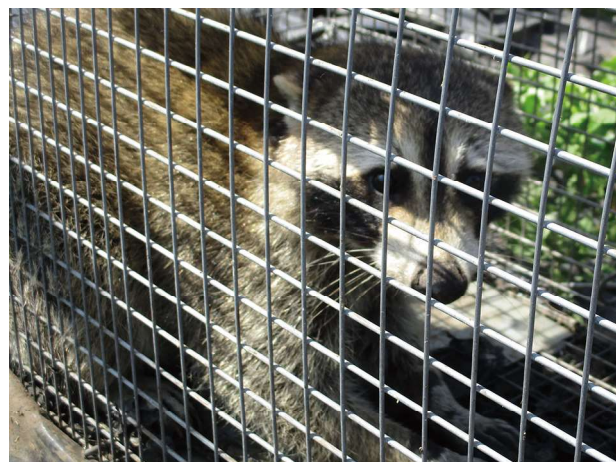
■先月号のクイズの答え

①=ア(19項目)

②=イ(80㊦)

③=ウ(3人)

アライグマにご用心!



特定外来生物であるアライグマが、8月に町内で初めて捕獲されました。

アライグマは、もともと北米大陸からペットとして日本に輸入され、逃げ出したものが野生化し、増えたと言われています。

北海道においては、最初の野生化は、昭和54年に恵庭市内において飼育されていた10頭程度のアライグマが逃亡し、酪農地帯に定着したのが始まりと言われており、その後、野生化したアライグマが生息域を拡大していったと考えられています。

アライグマは、雑食性で繁殖力が強く、納屋などを棲みかにし、農林水産業、自然環境および人の財産へ悪い影響をもたらすとして、特定外来生物に指定されています。



行動は夜行性で昼間は巣穴の中で休息しています。木登りや泳ぎが得意で、水辺を好み、森林、農地のほか市街地でも生息できます。

生態系へ与える影響としては、タンチョウツルやシマフクロウの営巣地への接近、狸との競合、アオサギの巣の消滅など、絶滅の恐れのある動物の捕食が確認されています。

道内で捕獲されたアライグマからは、肝障害を引き起こす可能性のあるレプトスピラ症、皮膚病である疥癬が確認されているほか、狂犬病やアライグマ回虫症を持っている可能性がありますので、餌を与えたり、触ったりしないようにしてください。

なお、町では、アライグマの目撃情報を集めていますので、見かけた場合は、連絡をお願いします。

詳しくは環境衛生係へお問い合わせください。

●問い合わせ／環境衛生係

広報クイズの抽選は正解者の中から無作為に行っています。一度当たったからといって抽選から外すことはありません。

ありがとう
ございました

寄附・奉仕

▼町に／厚岸建設業協会⇨車椅子5台(足の不自由なお年寄りのために)／宗石亭⇨10万円(しんりゅう保育所へ)

▼町立厚岸病院に／櫻庭正子⇨非接触式電子温度計1台(通所リハビリ利用者の検温のため)

(敬称略)

